

発行
2015年
7月
1日

み と し ん ぶ ん
未杜新聞

地域通貨：未杜

57
号



あなたの参画が多様性を認め合うコミュニティづくりの輪へ
あなたの余剰を分かち合う優しさが丹波の自然をまもる輪へ
あなたのすてきな能力の提供がコミュニティの自立と共生へ



人権・環境・共生

発行所：NPO 法人丹波まちづくりプロジェクト事務局（編集室）：〒669-3571 丹波市氷上町新郷 1574
編集人：赤井俊子 Tel/Fax0795-82-0065 E-mail：syunko27@yahoo.co.jp URL：<http://mito.tamba>

地域創生

兵庫県では「地域創生」が課題になっており、この種の事業の担い手として「若者」が期待されている。Young at heart という使われ方もするが、「若者」とは年齢に焦点を置いた区分である。厚生労働省での「若年労働者」は以前 20 歳台前半を指していたが、次第に年齢区分が上昇し、最近では 40 歳台前半になっている。しかし、一般的には「若者」は大学生を含めた 20 歳台前半を想定しているようだ。「ふるさと創生」も同じような想定の基に議論が展開している。しかし、大学所在地や通学する大学生が多数居住している地域はともかく、それ以外の地域では明るい見通しは期待できそうにない。

住民・市民と行政が手を携え「協働」によって地域の課題に取り組む試みでは広く老若男女を取り込むことにあまり成功していない。また将来、社会構築の中心となる年齢層、開催日時テーマなどに工夫を凝らしても期待できる成果に結びつくことは少なく「協働」事業への参画は概して中高年層が中心になっている。

しかし、兵庫県で平成 26 年度から始まった地元青年と他地域青年との連携による地域課題解決への取り組み、「ふるさとづくり青年隊」事業ではこれまでとは異なる若者を取り込む可能性を示唆している。これらの事業の中心になっている人達は、これからの若者は高校生層だと言い、その取り組みに高校生が参画しているという。保護者から独立の時期に当たる高校生にとっては、自分達と近い年齢層の人達の助言に耳を傾けて共に活動する可能性が窺えるようだ。この経験に倣って、若者が協働作業に関心を抱くような工夫を模索すべきだろう。

そういえば、補完通貨(Complementary Money)と呼ばれるようになった地域通貨取組みの一つ(REGIO)ではドイツの現役女子高生が中心になったと報告されている。

未杜男

「予告」

＜7月未杜カフェ＞

日時：7月13日（月）13時30分

場所：黎明館（丹波総合庁舎隣）2階会議室

内容：オープンカフェ「LETS」

地域通貨：輪読会が始まります。その内容や進め方も皆さんと考えながら地域通貨についてわいわいがやがやと話し合いたと思います。

出された意見や質問に対しては西部先生にメールしてコメントや回答をいただきます。

（関連記事3面・4面）

＜8月未杜カフェ＞ お休みします。

＜9月未杜カフェ＞

日時：9月16日（水）13時30分

場所：年輪の里広場（雨天は室内）

内容：未杜ひばりと一緒に歌おう。

「報告」 ＜4月未杜カフェ＞

福井県立大学の亀田先生に太極拳について講義を聴き、その後初歩的な実技を学びました。



＜5月未杜カフェ＞

新緑がまぶしいさわやかな日に第2回ふるさと探訪として山南町の常勝寺、首切り地蔵、慧日時を訪問しました。その後「みんなの家」でにぎやかな昼食会をもちました。



＜6月未杜カフェ＞

あなたの保険は大丈夫？（保険の真相）と題して前保険会社勤務の金子勝典さんに各種保険の内情について聞きました。



未杜起業会員の丹波の宿恵泉に場所をお借りしました。恵泉の職員の皆さんとの交流会も兼ね楽しい会になりました。

オープンカフェ「LETS」が始まりました

オープンカフェ「LETS」は地域通貨について学ぼうと思う人の集まりです。ここでは北海道大学経済学部教授西部忠先生の編纂された「地域通貨」(ミネルヴァ書房)をテキストに使用します。(そのコピーも用意しています)話し合いで出された意見等は要約して西部先生に送りコメントをいただきます。最初のオープンカフェでは本の序章 1~3ページ程度読みました。以下はその時の意見の要約です。

- 仲間以外とは交換手段にならない ○信用がない
- 実践したら「ままごと」のように思えた。
- 未社で食器など買えるので未社を使い始めてキッチンの食器が良くなった。
- 親しくなりすぎると物やサービスの交換に未社を使わなくなる。

西部先生のコメント

- 「仲間同士以外は交換手段にならない」「信用がない」「実践したら「ままごと」のように思えた」というのが実情でありみなさんの実感だとして、では、仲間以外で使え、信用が高く、ままごとでないような地域通貨を目指されているとか言われれば、そうなのかそうでないのか微妙なのではないでしょうか。ただ不満を口にしてみたということかもしれない。私たちが地域通貨に関心を持つのは、新しいもの好きだったり、好奇心からだったりもしますが、他方で、いまの経済や社会への不満や批判があるからでもあります。その点をよく考えてみるのが出発点なのではないでしょうか。
- 「ままごと」というのは、お遊びのようで自分の生活に結びつく実感がないということですね。でも、インターネットで株や先物を売買して何百万円も儲かったり損したりすることも、ある意味では自分の生活とは欠け離れたリアリティのないことです。リアリティがあるとすれば、それはそこで儲かったあるいは損したお金で車を買えたり買えなかったりすることで、自分の生活に関係したり自分が実感できるものや事に置き換えることができるからなのです。「未社で食器など買えるので未社を使い始めて我が家のキッチンの食器が良いものになった。」というは未社が自分の生活に変化をもたらしたからリアリティを感じているのですね。お金との関係で生活、現実、リアリティとはどうということかを考えてみると面白いかもしれません。
- 「親しくなり過ぎると未社を使わなくなる」というのはいろいろな地域通貨でよく聞くことです。よく知らない人同士が地域通貨を通じて知り合い、やがて友人知人になって、お互いの間に信頼関係が生まれるとかえって地域通貨でのやりとりをしなくなるということですね。コミュニティの活性化にその目的を置く地域通貨の場合、目的が達成されたとして解散した事例も海外にはあります。もし地域通貨の目的が信頼ある友人作りにあるなら、その目的は達成されたとして地域通貨を止めてしまうのは理にかなっています。でも、もっと他の目的を求めていけばそういうわけにはいかないでしょう。もちろん、未社の全体としての目的と個々の参加者の目的もまた別です。

会員 紹介

今月は埼玉県の大野義昭さんです。

<引退後の日々>

2010年6月退任時、知人の、1)日に一万歩以上を目安に歩く、2)食は「まごはやさしい」を中心に、3)人と交流を頻繁に、とのアドバイスを受け継続している。朝のウォーキングやラジオ体操、加え外出で一日一万歩以上歩き、食事は家内が対応してくれている。又、地元での仲間との交流も増加している。

物足り無く思っていた矢先、ラジオの文化講演で、



国文学者・作家の林望氏が、自身と父君の生き方につき講演されているのを聴いた。同氏は、引退後には六つの「ふ」が必要と、

① Financial

Asset(お金)、②Fit(健康)、③Fun(愉しみ)、④Friends(友)、⑤Family(家族)、⑥Philanthropy(慈善活動)を挙げておられ自身納得した。

お金とは無縁である。健康、自身の努力と天命次第である。愉しみ、元来無趣味であったが、引退直後よりある事に挑戦中も、上達しない事が最大の悩みである。友人、内外の旧知と交流を深め、年初に、勤務時代の業界のニューヨーク駐在経験者の新年会に、NY 駐在経験は無いが特別参加会員となり、懐かしい方々に会った。家族に就いては、折にふれ丹波の実家と関西の姉達や、家内の実家の89歳の母親を訪問している。ボランティア活動として、在住市の国際交流会に所属し、折々のイベントに参加している。連休中に、東大大学院のパキスタン人留学生夫婦を拙宅に招待し、食材に配慮した和食でもてなした。又、3年

間日本語教室で相手をした中国人のIT技術者の方が、日本語検定1級に合格、同時に某大学院の入試に合格、依頼され武道会館での入学式に同行した。実に楽しく嬉しい出来事であった。最近、ガーナよりの留学生の奥さんと技術研修生のベトナム人の相手をしている。海外の若い人達の向上心に接する度に、日本の若い人達の頑張りに期待している。仕事柄、外国の方との接点が多かったが、一味違う国際交流を楽しんでいる。

2015年4月以降に寄付をいただいた方です

丹波の宿恵泉さん

お志をありがとうございます。

丹波の宿恵泉(未社企業会員)

10周年記念式典おめでとうございます。



6月23日丹波の宿恵泉さんが丹波開業10周年記念会開催されました。経営母体のヴィタポート(本社北海道余市)の水谷幹夫社長夫妻も見えました。ヴィタポートはキリスト教精神に基づいた人間教育をしている「恵泉塾」が軸になっており全国に多くの事業所を展開されています。

オープンカフェ「LETS」は7月の未社カフェとして開催していますがその後は氷上住民センターにて毎月第2水曜日14時30分(事務局会議終了後)開催の予定です。会員の皆さんはもちろん地域通貨はどんなものか興味のある方も是非お越しください。お待ちしております。